

イエスは生きておられる

ルカ福音書 24:23

見ずに信じるものは幸いです

第六十三回 マウンント・ハーモン

修養会講師

牧会おたすけマンミニストリー

清和学園校長 黒田朔師



康子夫人と共に

誰にでも 取り返しのつかないしくじり」の経験があるものです。牧会生活四十一年を振り返り、取り返しのつかないしくじりを思い出します。会堂の隣の土地を買わなかったばかりにギリギリに隣家が建てられてしまったことや、心にかかる人をやっとならぬと亡くなっておられたりと、取り返しがつかないことがありました。イエス様の弟子たちにも同じようなことがあります。それはイエス様がはっきりと話された「よみがえりの約束」を信じなかったことです。それからイエスは、人の子は必ず多くの苦しみを受け、長老、祭司長、律法学者たちから排斥されて殺され、三日の後に復活することになっている、と弟子たちに教

え始められた。しかも、はっきりとこの事がら話をされた。」

(マルコ伝八章三十一〜三十二節)

しかし、まさかそんなことが起こるとは、誰一人、信じませんでした。やがて、そのまさかが起こります。イエス様の逮捕、裁判、鞭打ち、十字架を担っての行進、そして、磔刑…。それでもみんなは思っていたのです。まさかこのまま死んでしまわれるなんてことはあるはずがない。しかし、イエス様はあっけなく息を引き取り、必ず起こるとははっきり話されたことが事実となったのです。

それでも、弟子たちはイエス様が必要起こるとははっきりお話になつたことを思い出すことすらしませんでした。信じていなかったからです。

三日目の早朝、墓に駆けつけた婦人たちは空の墓を見て驚きます。探しているあの方はよみがえられました。」と聞かされても、彼女たちは震えるばかりです。イエス様がはっきり語られた通りのよみがえりの現実の真っ只中において婦人たちは恐れていました。信じていなかったからです。

やがて、ユダヤ人を恐れて戸を閉めきつた部屋の中で弟子たちは「イエスは生きておられる。」と聞かされた時、たわごとだと思いましたが、彼らも信じていなかったからです。そんな弟子たちの真ん中にイエ

ス様ご自身が立たれ、傷ついた手足を見せて言われました。まさしく私です。」

しかし、その場に居合わせなかったトマスは申しません。私は、その手に釘の跡を見、私の指を釘のところに差し入れ、また私の手をそのわきに差し入れてみなければ、決して信じません。」(ヨハネ伝二十章二十五節)

イエス様がおことば通りよみがえられたことすべてが明らかになつたとき、弟子たちはイエス様のおことばを信じなかったしくじりを思い出したことでしょう。もし、誰かひとりでも、イエス様が必ず起こるとははっきり話されたよみがえりを信じてさえいたら、恐れるどころか、彼らはお祭りが出来たのです。イエス様の遺体を墓場ではなく、エルサレムの二階座敷にでもお迎えし、よみがえりまでの時間を数えて、楽しみ、喜びお祭りが出来たのです。信仰と不信仰の差は天と地の差、墓場とお祭りの差を生み出します。

今年も、イースターを前に主は語られます。信じないものにならないで、信じるものになりなさい」(ヨハネ伝二十章二十七節)、「見ずに信じるものは幸いです。」(ヨハネ伝二十章二十九節)



この「祈り」の歌は、昨年、CDをリリースさせていただいたSOTTO VOCEの中の一曲です。これは、イエス様の愛を歌っています。罪深い私をそのまま、ありのまま受け止めて抱き、上からの目線で語りかけるのではなく、私たちの神様は、一緒に痛み、悲しみ、泣いてくださるお方で、優しい、温かい光の中で私たちを包

【イースター随想】

イースター賛歌：イエス様の愛
榊原久美子

祈り

Amazing Grace 大いなる恵み 心の扉
閉ざして生きた日々は 遠く過ぎた かけら

Amazing Grace 大いなる恵み
痛みと傷を慰め包む光 優しく愛で満たす

Amazing Grace 大いなる恵み 新たないのち
私たちは声をあげて その朝 たたえ 歌う

作詞：Nobu (榊原宣行)

綾子さんの「塩狩峠」を貸してくれました。それを読んで、高校三年のクリスマスから教会へ行くようになりました。その友人は別にクリスマスチャンではなく、単に良い本だからと言って勧めてくれたのですが、今思うと、不思議な導きでした。その教会で、いつまでも存続するものは、信仰と希望と

愛と、この三つである。このうちで最も大いなるものは、愛である。」



み込んでくださる、そんな深い深いご愛に心から感謝し、復活を待ち望む賛美の歌です。

山梨で生まれ、育った私は歌が好きで、中学三年の時に合唱に参加し、ソロで「赤とんぼ」を歌ったことがきっかけで、音楽を学ぶようになりまし。そんな中で、歌を歌っていても、自分の心の中に愛がないことに気がつき、悩んでいた私を氣遣って、友人が三浦

ことを知りました。自分には愛がないけれども、イエス様の愛を心に迎え入れることによって、答えを見出すことができたのです。

牧師である主人と結婚し、横浜ホーリネス教会の牧会を経て、二〇〇〇年に、四歳と一歳の娘と共に家族で渡米しました。その間、日本にいる実父と育ての父を天に送り、大切なおばあちゃんたちもみんな天国に行き、尊敬する先生

や友も主の御許に行きました。二人の赤ちゃんをこの身に与えられました。やはり天国に行きました。小さな小さな命でした。そんな中で私は、天国、復活をとて身近に思うようになりました。

淋しくて、眠れない夜を過ごしていた時イエス様がいつもそばにいてくださり慰めてくださいました。イエス様はとても忍耐強いお方です。わたしがどんなに欠けたら、つぶやいても、愚痴を言っても絶対見捨てません。諦めません。愛することを止めません。想像もつかないほどの深いご愛をもって抱き続け、必要とし続けてくださるのです。

神様が人となってこの地上に来てくださり、私たちの罪の身代わりとなってくださったお陰で、新しい主にある永遠のいのちをいただきました。罪赦され主を信じ受け入れた者たちは、その朝、復活のとき、また天において、大声を上げて、神様ありがとうございます。と祈り感謝し、賛美します。神様の御前で、大切な愛するひとたちとまた再会でき共に賛美する日がくるのです。イースターを前にして、主の十字架にあらためて感謝し、復活を喜ぶ者とさせていだきたいと思えます。

ベニンスラFM教会牧師夫人)

愛の十字架

中尾照代

イエス・キリストの十字架
何ともおそるべきあの十字架
言葉に絶する極限の受難
ああその凄惨さ

しかしあの十字架は
愛なのだ
愛の真髄であり
愛のすべてであり
全世界に湧き上がって
あふれる神の愛の泉なのだ
高く聖く深い

大きな大きなこの愛は
言い尽くそうとしても
言葉を超えてしまう

この十字架によって
人は神の愛を知る

この愛で
自分が神に愛されていることを
知る時

人は生きる喜びと力を得る
神のみ子の十字架から
今も愛が流れ出ている
信じる者すべてのために

詩集「時」から

第63回

JEMSマウント・ハーモン・ファミリー・キャンプ

主があなたの信頼する者であり 箴言 3:26A

クリスチャンとしての信仰が強められ、キリストの弟子として整えられます。
家族、友人への伝道の場として、子供たちへの信仰の継承の場として用いられます

日時： 2012年7月1日（日）午後2時（受付開始）～7月7日（土）正午

会場：マウント・ハーモン・クリスチャンセンター（北カリフォルニア・サンタクルーズ市郊外）



- ☆レッドウツの樹が茂る大自然の中にあるキャンプ場です。
- ☆超教派の日系人クリスチャン・ファミリーキャンプで、英語部と日本語部があります。
- ☆幼児のための保育所、子供キャンプがあり、年齢に応じた楽しいプログラムが用意されています。
- ☆朝のメッセージ、夜のメッセージ、分科会（セミナー）、スモールグループ、コンサートなどバラエティ豊かな充実したプログラムです。
- ☆大食堂で英語部と一緒に食事をし、午後の自由時間には、水泳、川遊び、卓球、ハイキングなどの各種スポーツ楽しめます。希望者には観光ツアーもあります。
- ☆キャンプ場にはコーヒーショップ、ブックストア、郵便局があります。
- ☆英語部では、中学生、高校生、大学生、障害者のキャンプが同時に開催され、各キャンプ場訪問の時もあります

朝の聖書講解 黒田朔師



高校時代に受洗。大阪市立大経済学部卒業。
塩野義製薬に勤務後、脱サラして献身。
大阪岸和田聖書教会にて、13年、ハワイ・マキキ聖城キリスト教会にて28年、計41年間の牧会生活を終え、2011年4月に引退。
「牧会お助けマンミニストリー」を夫妻で始め、パリ、ニューヨーク、大阪などの諸教会で奉仕中。 2012年4月より清和学園校長。
1940年生まれ。子供5人、孫9人。

夜の聖会

黒田朔師 マウント・ハーモン主講師
マウント・ハーモン修養会参加牧師

ファミリーキャンプ参加費用 （泊まる部屋によって、金額が変わります）

デラックス：\$986 スタンダード：\$797 エコノミー：\$601 幼児・子供料金：0～3才：\$114 4才～12才：\$258
ユースキャンプ Jr Hi (6-7)：\$418 Int Hi (8-9)：\$423 Sr Hi (10-12)：\$434 College：\$444 Special：\$581
トランスポートーション 南加からバスが出ます。往復 \$122 片道 \$93 サンノゼ国際空港と修養会会場間の送迎あり。

奨学資金制度 牧師、引退牧師、その家族、日本語部に出席する神学生、一般学生のための特別奨学資金有
（詳細は JEMS までお尋ね下さい。）

登録人数が満員になりしだい締め切り：5月1日以降の申込みは25ドル追加

ご家族 友人をお誘い合わせ できる限り **早急にお申し込みください**

申込書は JEMS ウェブサイト [WWW. jems. org](http://www.jems.org) からダウンロードできます

問い合わせ：JEMS 日本語部 Minakof@jems.org 213-613-0022 FAX 213-613-0211

日本宣教―広島県宣教旅行 西山律子



昨年(2010年)の三月十一日に日本に大地震と津波が起きたことは世界中の人々の記憶にはつきりと刻みこまれていると思います。私は同年十月から十二月末まで、日本に短期宣教師として遣わされました。私が遣わされた所は、仙台から南西に八百マイル離れた広島県です。で、地震からの直接の被害は受けませんが、日本国内に広がった地震や津波や放射能被害への恐れや不安をこの地域の人々が感じているのは不思議ではありません。人々は何かしなければという思いに迫られ、多くのグループが組織され、東北援助のために向かっていきます。

私の広島宣教旅行は、今回で四回目となります。広島県世羅町に、私の兄家族が住んでいますので、この町を拠点としています。まず甥の写真館で以前のように英会話のクラスを始めました。嬉しいこのクラスを待っていてくれました。二〇一〇年クリスマスには、一人の生徒がイエス様を受け入れました。日本名は吉昭といますが、英語のロバートという名前を気に入って使っています。

英語クラスを始めてすぐに、ロバートの友達の健士さんがクラス

に熱心に通うようになりました。彼はたくさんの方々の哲学書や名言書などを読んでいます。彼はアップルの創業者スティーブ・ジョブズは旧約聖書の「ヨブ」と関係があるのかと聞いてきたり、サムソンと「デリラ」の話は信じられないとも言っています。そこで私は聖書を一緒に読んで、ジョブズ氏は、ヨブとは違うし、サムソンについては、ある人たちは神様からの特別な贈り物を誤って使っていることを説明しました。



会餐会 愛純(後)
ス川(斜め右)
マ荒(斜め左)
ス教会(左)
クリス当津恵
ク教会夫人
山端と奈津
甲左牧師
山前

ロバートに士師記十六章でサムソンがどのように描かれているか

を読んでほしいと頼みました。翌日、ロバートは士師記とルツ記を読んだと言ってきました。素晴らしい。あなたが行くところに私は行き、あなたが留まる所に私も留まり、あなたの民は私の民となり、あなたの神は私の神です。」と姑であるナオミに言ったルツの信仰について私は話したかったので、私は励まされました。私は聖書の話をもっと慎重に、もっと

度々他の生徒たちにも話すようになり、ある生徒は、私がクラスの一時間中、ずっと聖書の話だけをしていたと言っていました。が、私がここに来たのはもちろん神様を伝えるためなのですから・・・。

クリスマスに、私たちは小学一、二年生から七十歳の婦人にいたるまで約二十人の人達と共に祝いしました。婦人たちのご主人も数人参加してくれました。英語クラスすべての生徒達は英語で歌を歌うことになりました。ロバートの従姉妹の暢子さんはクリスマスチャンです。彼女は賛美歌二曲を歌ってくれました。他の十一人の生徒たちはポピュラー・ソングやクリスマス・キャロルを歌いました。そして「ぎよしこの夜」を日本語と英語で合唱しました。暢子さんは、仕事を引退している敏秀さんや他の人達にも日本語の聖書を贈ってくれました。敏秀さんや奥さんのともえさんは暢子さんの教会に出席したいと言っていました。たくさんの人達が私に世羅にまた戻ってきてほしいと言っていました。世羅で出席していた「甲山教会」も含めてです。現在、どの方向に行くべきかを祈っています。どうか地域の教会で聖書研究が行われるようにお祈りください。訓練を受けた牧師先生たちを通して、主に導かれる者が与えられるように、また神様の祝福が広島に、

被災地の人々に、日本中の人々にあるようにお祈りください

フルタイムの日語部牧師募集

ハワイ・マウイ島にあるカフルイ・ユニオン教会では、次のような日語部の牧師を求めています。

- ・日本語・英語に堪能であること
- ・牧師の按手を受けていること
- ・説教と指導力に優れていること
- ・牧会者としての心得を持ち、失われた魂を情熱を持って追い求める者
- ・地域社会の若者への伝道の重荷を負う者

カフルイ・ユニオン教会は、保守的な合同キリスト教会(CIC)で、活動的な日本語部を擁しています。現在、日本語部には、二十七名のアクティブ・メンバーがおり、会員の平均年齢は、七十歳と高齢ですが、若い母親や子供達も参加しています。詳細は、左記の方へ問い合わせ下さい。

副牧師 ケン・タナカ

ken@kahuluiunion.org

八〇八―八七―一四四二二

または

牧師選定委員長

ロバート・タキタニ

八〇八―八七―七七三四

日本宣教報告
JEMS総主宰 リック・中馬

私は月曜日（三月五日）に、日本から戻ってきたばかりです。私が日本で行う楽しみの一つに、人間観察があります。新宿のある場所において、たくさんの人々が電車から降り降りするのを観察するのは、文字通り、人間の壁です。また新宿のある店を見渡せるベンチに腰掛けて、二十分間何百人という人々が行きかうのも見ていました。この中で、一体何人の人達がイエス様のことを知っているのか。ほとんどの人々は神様から永遠に離れて死んでいくのではないかと私の心は痛みます。

日本での自殺者はこの十年間、毎年三万人以上と言われています。中絶率も非常に高く、一九五五年には百十七万の胎児が中絶されたそうです。近年は約三十五万に減っています。未だそれら命が自分たちの都合で取り去られているのです。若い人達の引きこもりの問題や増えていく離婚率の問題もあります。日本全体が病んでいることを心配します。しかし、これが私達の愛する日本の実情です。そして三月十一日がやって来ました。一万八千人の人々が亡くなり、三千人あまりの方々が行方不明だと言われています。日本赤字は三十二万六千人の人達がホームレスになったと報告しています。

気仙沼、陸前高田、鮎川浜など多くの海岸沿いの町が破壊されました。東北の人達は、それでも命があることが有難いと言っています。JEMSはすべての日本人にイエス様のことを知ってほしいと願っています。JEMSのパートナーの宣教グループや教会が同じ思いで、短期や長期の宣教師たちを日本に送っています。昨年はCRASHを通して二十三万ドルが被災地に送られました。今年もCRASHと共に、もっと日本人がイエス様の福音を聞くことができるように、他の宣教活動もサポートしていく予定です。

二〇一一年十一月に箱根で開かれた開拓伝道会議に出席しました。今福音に心を開き始めている東北の人々のために多くの宣教グループが宣教活動を東北に移し始めています。イエス様だけが唯一の希望であることを知ってほしいのです。神様は甚大な喪失感にある東北の人々の心に迫っています。神様は日本で働いておられます。もっと多くの日本人が真の希望と人生の目的と意味をイエス様に見出すなら、前述した統計の数字は変わっていくことでしょう。どうか日本人と在米日本人伝道を志すJEMSのために祈りください。津波の被害に苦しむ沿岸地域の人達に聖霊が働き、新しい命に生きていけるようにとお祈りください。

南米夏季短期宣教師募集

十 ベレム（七月十四日～二十六日）

ブラジル・アマゾン地域における二週間の青少年キャンプ奉仕。工作、スポーツ、ゲーム、料理、ハイキング、音楽、礼拝などのプログラムを指導する。賜物が用いられ、熱意を持って、キリストの福音を伝えることができる絶好の機会。英語が堪能なことが望ましい。

十 **パラグアイ 七月二十二日～八月五日**

アサンシオンの日本人コロニーにおいて、子供たちのバイブル・スクール・プログラム奉仕。堪能な日本語。少しスペイン語知識があると良い。収穫は多いが、働き人が少ない。海外宣教に参加し、主の証人と問合せは、JEMSまで。

近況報告

南加キリスト教会連合では、コミュニティ奉仕の一環として、ボイル・ハイツ敬老引退者ホームで、毎月一回の礼拝を行っています。二月二十八日に、私も初めて参加いたしました。二十五名ほどの方と一緒に賛美し、この日のメッセンジャーの中川洋師から「神の御顔を求める」というメッセージを伺いました。これから毎月礼拝に出席し、皆様と良いお交わりをさせて頂きたいと思っています。またホームの方々に伝道をしたという思いから、昨年十一月から所属教会の賛美フラチームに参加しています。賛美フラを通して、イエス様の愛を体験し、笑顔で毎日過ごしていただけるようなミニストリーが敬老ホームで始められるようにと祈っています。

イースターの時期を迎え、イエス様の素晴らしい愛を多くの方々に伝えていきたいと、心新たにされています。 藤本三奈子

編集後記

心に深い傷が残る三・一一の痛みが癒されるのはいつのことでしょうか。歳月が解決するのでしょうか。イエス・キリストの十字架での苦しみと人間の思いを拭き、キリストの復活がすべてを希望に変えてくださることを日々、祈り続けたいと

西原黎子



SOTTOVOCE

一優しい声をきいて Kumi-ko

本号2ページのイースター随想を執筆された榎原久美子さんのCDがリリースされています。現在、全米で活躍中のオペラ歌手。ポップスのアレンジで優しいさわやかな歌声、オリジナルソング4曲に加え、黒人霊歌、アイルランド民謡などを収録。

価格：\$12 送料\$3

問合せ：JEMS (213-613-0022 藤本三奈子)

榎原宣行 (650-365-7972)



JEMS AFFILIATES, MISSIONARIES AND ADMINISTRATION**JAPAN AFFILIATES**

Dr. Akira Hatori-TV Radio Evangelist
 Rev. Nobumichi Murakami-PBA Radio/TV
 Rev. Timothy Hime-Soden JEMS Japan Coord.
 Rev. Paul Ariga-All Japan Revival Mission
 Rev. Yoshihiro Kishi-Mission 2001
 Rev. Tadao Ogawa-Social Worker
 Nao & Barbara Hanada-Director of AiGJ
 Josh Sasaki-Music, Japan

US AFFILIATES

Rev. Chandler Im-Billy Graham Center
 Ray Sidney, Amy Lachica, John Comfort-
 Here to Praise Ministries
 Rev. Roy & Nana Yamamoto-USA Evangelism
 Patrick Zukeran - Probe Ministries

JAPAN MISSIONARIES

Gayle Gutierrez-Machida
 Michael & Chris Mason-Sakai City
 David Mills-Yokohama
 Lily Suzuki-Amakusa
 John and Kazumi Van Farowe-Nagoya
 Nozomi & Kevin West-Nagoya
 Anne Winters-Omochanomachi
JEMS BOARD OF DIRECTORS
 Larry Kuromiya-President
 Tony Kim-Vice President
 David Akiyama-Treasurer,
 Don Yamagishi-Secretary
Members at Large: Stan Date,
 Bob Matushima, Donna Mukai,
 Greg Oda

JEMS ADMINISTRATION

Rev. Dr. Richard Chuman-Executive Director
 & Minister at Large
 Mary Tabuchi-Office Administrator
 Daichi Tsuruta-Senior Accountant
 Megumi Sasaki-Accounting Assistant
 Darryl Wong- Missions Administrator
 Rev. Sam Tonomura-55 Plus, Men 4 Missions
JAPAN MISSIONS
 Rev. Dr. Richard Chuman-Interim Director
SOUTH AMERICA MISSIONS
 Rev. John Katagi-Director
 Justine Morey-Missions Coordinator
AACF ADVISORY BOARD
 Bruce Chow, Rev. Kevin Hayashida,
 Larry Kuromiya, Ilene Miyahara,
 Don Yamagishi

AACF CAMPUS MINISTRIES OF JEMS

Interim AACF Director-Leadership Team
 Leadership Team-Rev. Melanie Mar Chow, Rev.
 Victor Quon

AACF CAMPUS MINISTERS

Chong Ahn, Dana Chau, David Fong, Arnie Ong

AACF VOLUNTEER CAMPUS MINISTERS

Bruce Chow, Ashley Donald, Evelyn Fan
 Encarnacion, Nathan Fong, Karen Freese,
 Monica Gon, Warren Hino, Ed Kwong, Adrian Li,
 Jonathan Liu, . Mark Quan, Rev. Carolyn
 Shimabukuro, Jesse Terasaki, Anthony Yuen,

AACF RESOURCE

Ed Lee, Ming Lee, Young McCann, Alan Oda,
 Donna Lee Oda, Rev. Stephen Sato,

MOUNT HERMON YOUTH CAMPS

Cynthia Tsushima-Coodinator

MUSIC AND MEDIA

Lowell E. Sue-Director

NICHIGO

Minako Fujimoto-Coodinator

PACIFIC NORTHWEST

(STATE OF WASHINGTON)

Rev. Carolyn Y. Shimabukuro-

PNW Director

SENIOR & MEN 4 MISSIONS

Rev. Sam Tonomura-Director

SPORTS AND RECREATION

Matt Asami-Director

Marc Takamine-Resource

JEMS JOURNAL

Emily Okada-Layout & Graphic
 Designer

JAPANESE EVANGELICAL MISSIONARY SOCIETY

948 East Second Street

Los Angeles, CA 90012

213.613.0022, 213.613.0211 FAX

E-Mail: info@jems.org www.jems.org

RETURN SERVICE REQUESTED



NON PROFIT

Auto

US POSTAGE PAID

(ADDRESS LABEL)

第 17 回宣教大会

北米の同胞をキリストへ

講師：黒田朔師

日時：2012年7月8日（日）午後2時半

場所：ロサンゼルス合同教会

入場無料：席上献金あり

問合せ：213-613-0022



切り取り線

ジャーナル・時報のEメール配信

E-mail アドレスをinfo@jems.org までお知らせください。又は下記にメールアドレスをご記入の上、同封の封筒にて JEMS まで、郵送ください。

名前：

住所：

E-mail アドレス：



JEMS カナダ西部・

カナディアン・ロッキー・ツアー

期日：2012年7月30日（月）～8月9日（水）

訪問地：New Denver, Kaslo, Nelson, Vancouver,

Calgary, Lake Louise, Banff, Rogers Pass, Kelowna

詳細：JEMS WEBSITE General Events

http://jems.org/general_events.html

問合せ：213-613-0022 または samt@jems.org

目次

P 1 : イエスは生きておられる	黒田朔師
P 2 : イースター随想	榊原久美子
P 3 : 第 63 回マウントハーモン修養会案内	
P 4 : 広島県宣教報告	西山律子
P 5 : 日本宣教報告	中馬リック師
	近況報告
	編集後記
	藤本三奈子
	西原黎子

主があなたの信頼する者であり

箴言 3 : 26 A

(2012年マウント・ハーモン修養会主題聖句)



ハレルヤ！ 主の尊い御名を賛美致します。

2012年マウント・ハーモン修養会の申込みが2月より始まっています。今年も多くの方々と共に主を賛美し、日語部講師黒田朔師からのメッセージを通して主のみことばに聞き、主にある豊かな交わりの時を楽しみにしています。

今回で63回目を迎える修養会ですが、60周年に外村サム前 JEMS 総主事が過去のマウント・ハーモン修養会を振り返って、口では言い表せないその恵みを証していらっしゃいます。「マウント・ハーモンの1週間が、どれだけ人々の人生を変える働きをしたかを数字で計ることは難しいことです。しかし何人の方々が、この山で救われ、神の家族の一員に数えられたことでしょうか。何人の方々がこの山で福音宣教のために生涯を捧げる決心に導かれていったことでしょうか。何人の方々がこの山でキリストの赦しを受けて、崩壊した人間関係を回復したことでしょうか。何人の方々がこの山で家族や教会や学校や職場において、主の証人として立てられ、他の人々の魂に大きな衝撃を与えてきたことでしょうか。」

今年の修養会も、主に信頼し、主が私たちに備えてくださっている素晴らしい恵みの時を感謝を持って受け取り、お一人お一人が喜びに溢れた修養会となるように願っています。

3月初旬に「**3-11 1ST ANNIVERSARY REMEMBRANCE**」と題してミッション・バレー・フリー・メソジスト教会で CRASH の集会がありました。これまで多くの方々が JEMS を通して CRASH の被災地での働きに祈りと経済的支援でサポート下さり、感謝致します。この集会を通して強く感じたことは、今、日本は、特に地震で被害の大きかった東北地方は世界中の多くの人々に祈られている、そして、この祈りによって、又、多くのクリスチャンの方々の支援によって福音に心を開く人々がおこされている、ということです。CRASH の働きも物質的な援助から、心のケアにと移り、仮設住宅を訪問したり、移動カフェを開設したりすることでキリストの愛を伝えていく活動に中心が移ってきています。集会では、参加された多くの方々が、日本にボランティアとして行きたいと意思を表明してくださいました。日本に重荷を負ってくださる方々に感謝すると共に、日本語を話す奉仕者も多く求められています。JEMS では日本語を話す長期、短期宣教師も支援しています。オフィスまでご連絡ください。

また、日語部コーディネーターの働きを経済的に支援して下さる方は JEMS 宛のチェックのメモ欄に「Minako Fujimoto Support」とご記入ください。JEMS 日語部の働きのためにお祈りください。

【祈りのリクエスト】

- 日語部の働きを通して、みことばの種がまかれ、信仰者がおこされるように
- 津波で被害を受けた方々の支援に祈りが捧げられ、派遣される方々がおこされるように
- 被災地で活動をされている教会の牧師、教会員の方々の健康が守られ、必要が満たされるように
- マウント・ハーモン修養会が主の祝福に満ちた修養会となり、日語部に新しいビジョンが与えられるように

JEMS OFFICE 948 E. 2nd St. LA, CA 90012-4317 213-613-0022 email : Minakof@JEMS.org

